

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)

(生命理工医療科学先端研究特論) (医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師 国立障害者リハビリテーションセンター
室長 篠原 正浩 先生

2. 演 題 身体不活動による健康障害の病態解明とその克服に向けた基礎研究

3. 日 時 2025年11月28日(金) 17:30～19:30

4. 場 所 ZOOM
(受講希望者は11月25日までに下記アドレスにご連絡ください)

5. 要 旨

適度な身体運動は全身性に多様な健康効果をもたらしてくれる。逆に身体不活動の状態が継続すると様々な健康障害が起こる。骨組織は身体不活動の影響を受ける組織の一つであり、長期間の寝たきりや車椅子生活により骨量が急速に低下する。我々が開発した不動性骨粗鬆症モデルを用いた経時的な解析から、不動性骨粗鬆症の病態遺伝子発現レベルで解明するとともに、1細胞解析から骨量減少のメカニズムも明らかになりつつある。また、不動性骨粗鬆症の特異性を明確にするため他の骨量低下モデルや老化との比較解析についても紹介したい。

連絡先：中浜 健一 (分子細胞機能学分野 内線5574、
nakacell@tmd.ac.jp)